

13. 溺れたとき



溺れるというと海やプールを思い浮かべますが、実際には浴槽や洗濯機やトイレで溺れる例も、多数あります。

こんなときは、早めに急病診療所などを受診しましょう

- 顔色が悪いとき。
- 元気がないとき。
- 大量に水を飲んでいるとき。

こんなときは、救急車を呼びましょう

- 意識がない、ぐったりしているとき。
- 変な呼吸をしているとき。

注意しましょう

- 乳幼児の溺れ事故の多くは、家庭内でおこっています。浴槽や洗濯機は水を抜いてふたを閉めましょう。また、トイレのふたやドアをしっかり閉めましょう。
- 半日以上たってから、意識障害が出ることもあるので、よく観察しましょう。